

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

この度は弊社製品をお買い上げくださいますと誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

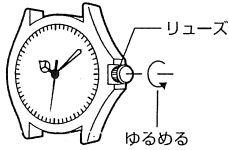
USER'S GUIDE
ANA(BG4)V.B* JA
2351・2352

CASIO

時刻の合わせ方

※機種により形状は異なります。

防水時計の一部（特に10気圧・20気圧防水）でリュースがネジ込み式になっているものは時刻・カレンダーを合わせる際は左回しにしてネジ込みをゆるめた後、リュースを引いてください（無理に引かないでください）。なお、リュースをゆるめた状態では防水機能を保てませんので、合わせ終わったら必ずネジ込みをしてください。

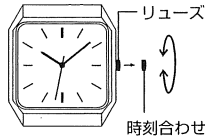


●時刻の合わせ方

- (1) リュースを引いて秒針を止めます。
- (2) リュースを回して時刻を合わせます。
- (3) リュースを押し込みます。

時刻を合わせるときは、針を正転方向（進む方向）に回して合わせてゆき、分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせると正確に合わせることができます。

※時報は「時報サービス117番」が便利です。



●日付の付いているものは

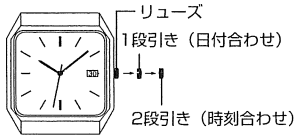
→ 日付と時刻を別々に合わせます。

<日付の合わせ方>

- (1) リュースを1段引きます。
- (2) リュースを回して日付を合わせます。
- (3) リュースを押し込みます。

※日付は31日制になっていますので、2、4、6、9、11月の月末には必ず修正してください。

※針が午後8時～午前1時の間を指しているときは日付合わせを行なわないでください（この間は上記操作を行なっても日付が変わらないことがあります）。



●日付・曜日の付いているものは

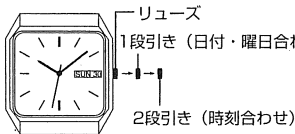
→ 日付・曜日と時刻を別々に合わせます。

<日付・曜日の合わせ方>

- (1) リュースを1段引きます。
- (2) リュースを回して日付・曜日を合わせます。
- (3) リュースを押し込みます。

※日付合わせと逆方向にリュースを回すと曜日が進みます。

★曜日が「日／英切替式」や「絵」などになっているものは、好きな方を選んでお使いください。



安全上のご注意

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています（左の例は感電注意）。



⊘記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています（左の例は分解禁止）。



●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）。

警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバースウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等

- ・バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- ・「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- ・万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用上の注意

- 防水性● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	×	○	○
ウィンドサーフィン	×	×	○	○
スキダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なバック交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行いますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください（特殊な治具を必要とします）。

- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても美観にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■ショック

●腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。

●腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。

■磁気

●家庭電気製品（テレビなど）程度の磁気には影響ないように耐磁構造をとってありますが、強い磁気が発生する器具に近づけると一時的に遅れ、進みが生じることがあります。

■薬品類

●水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について

■最初の電池

●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

※モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。

※電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「針が止まったり」します。

●消耗した電池を使っているため故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

●電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。

●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●電池交換の際、防水検査を行います（防水検査は別途有料となります）。

お手入れについて

■お手入れのしかた

●時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

●金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

「サビ」

●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。

※汚れにより酸素が断られると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。

●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して衣類の袖を汚すことがあります。

●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。

「かぶれ」

●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。

万一、かぶれた場合にはそのバンドの着用を中止し皮膚科の専門医にご相談ください。

●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■蛍光商品のお取り扱いについて

蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。

●長時間、直射日光に当てると、色あせる場合があります。

●長時間、濡れたままにしてしまうと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。

●長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。

●プリントがしてある場合は、プリント部分を強くすると他の部分に色がつくことがあります。

再生紙を使用しています。

カシオ計算機株式会社

MA0110-000509A

時刻合わせについて

Setting the Current Time

図のようにリューズがベゼルで隠れている時計をお買い上げの場合は、下記の手順でベゼルのはずしをしてください。

If the crown of your watch is inside the outer cover as shown in the illustration, you must use the following procedure to remove the outer cover and ring from the watch in order to change the time setting.

※ プロテクターを開くときは爪を使わないでください。爪などで開くと、ケガをすることがあります。

When sliding the protectors open, take care that you do not pull too strongly with your fingernails. Doing so can create the danger of personal injury.



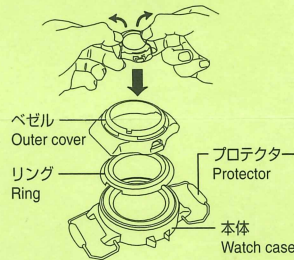
● ベゼルとリングのはずし方

To remove the outer cover and ring

プロテクターを図のように起こしてベゼルとリングをはずします。
Slide open the protectors as shown in the illustration, and remove the outer cover and ring.

※ 回転ベゼルがついている時計は、回転ベゼルははずれません。

If your watch has a rotating bezel, the rotating bezel does not come off.

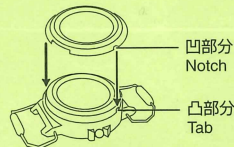


● ベゼルとリングの取り付け方

To install the outer cover and ring

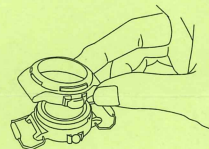
(1) 時計本体の凸部分にリングの凹部分を合わせて乗せます。

Place the ring onto the watch, making sure the notches in the ring align with the tabs on the watch case.



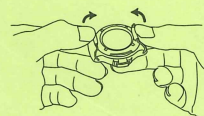
(2) 上下を間違えないようにベゼルの乗せます。

Making sure it is oriented correctly, place the outer cover onto the watch case.



(3) 時計本体とリングとベゼルが隙間なくついていることを確認してから、図のようにプロテクターを開じます。

After making sure there is no separation between the watch case, ring, and outer cover, slide the protectors back over the outer cover as shown in the illustration.

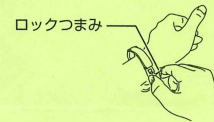


バンドの使い方 (機種によりバンドの形状は異なります)

N-BAND

● バンドの外し方

ロックつまみを両側からおさえるようにして引き起こします。



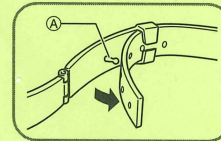
● バンドの付け方

二つ折れ部を折り曲げます。
※ しっかり折り曲げるとカチッと音がします。

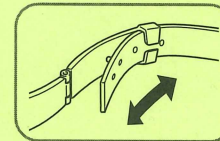


● バンドの長さ調整

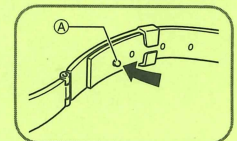
(1) バンドを手前に引いて、A部から取り外します。



(2) バンドをスライドさせて長さを調整します。



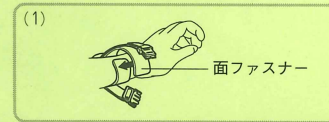
(3) バンドの穴をA部にはめ込み、固定させます。



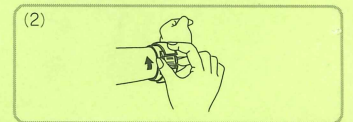
バンドのつけ方 (機種によりバンドの形状は異なります)

B-BAND

(1) 内側のバンドを腕に巻き付け、面ファスナーで固定します。
※ 面ファスナーは水につけるとはがれやすくなりますのでご注意ください。



(2) 外側のバンドを腕に巻き付け、バックルを図のように親指と中指ではさみ、人さし指で上部を押えながら差し込みます。
※ 正しく差し込むとカチッと音がします。



★バンドはバックルの位置をずらしてバンドの長さを調整できます★

(1) バックルに、外側のバンドを下図のように通し、折り返す。
(2) 下図 ① ~ ③ のようにバックルにバンドを通し、固定させます。

